

## 鯖江駅周辺整備の方向性について（抜粋）

### 1 ハピラインふくい移管後（北陸新幹線金沢・敦賀間開業後）の主な取り組み

- ・令和6年3月16日、北陸新幹線の県内開業と同時に、在来線の経営がハピラインふくいに移管され、鯖江駅では特急電車の運行が廃止された。
- ・鯖江市は、駅舎活用によるおもてなしの強化や駅舎の利活用についてのハピラインふくいとの協議、駅利用状況の変化の把握、駅周辺のにぎわい創出に向けた事業の実施、駅利用者を含めた市民の意識調査を行った。

	計画（再検討発表時）	実績、主な成果
既存駅舎（西口）でのおもてなし強化	①コンビニエンスストアの跡地利用 ②号車看板撤去後のめがねのまちマーク、めがねベンチ設置 ③北側跨線橋の装飾変更 など	①R7.1 ファミリーマートオープン ②R6.3 めがねのまちマーク、めがねベンチの設置 ③R6.3 跨線橋内の改装実施 R6.10 デジタルサイネージ設置
ハピラインふくいと協議	①駅舎の活用方法を検討	①R6.3～ コンビニ跡地活用、えきライブラリーtetote 移転、フリースペース設置に関する協議を行い実現(R7.6)
利用状況調査の実施	①通勤・通学者の利便性向上、利用者増加につながる調査 ②方面別（東京、関西、中京方面等）の移動実態調査 ③観光客、サンドーム福井でのイベント時等の人流調査 ④鯖江駅周辺駐車場、越前たけふ駅前駐車場の利用状況調査 など	①R6.4 鯖江駅の利活用に関する調査 R7.6 鯖江駅周辺交通社会実験および送迎に関するアンケートを実施 ②R6.11 KLA※1 人流データ分析 ③R6.9 駅利用者への実地調査 R6.11 市民アンケート ④鯖江駅周辺駐車場の利用状況調査 越前たけふ駅前駐車場の動向把握
にぎわいの創出	①鯖江駅周辺（西山公園～鯖江駅～めがねミュージアム）でのイベント等の開催 ②鯖江駅前ビル、中心市街地空き店舗等を活用した賑わいづくり ③2025年の市制70周年、眼鏡産業生誕120周年の記念事業の発信と市内外からの集客 など	①R6.3 ハピラインふくい開業イベント R6.9 さばえ3大フェス（めがねフェス、SDGsフェス、さばえ門前まつり） R7.3 サバエ駅前大宴会 R7.6 えきライブラリーtetote、エキナカフリースペース完成イベント R7.10 鉄道ふくいフェスタ in さばえ ②チャレンジショップ「Sabayell」開設 ③サンドーム福井コンサートおもてなしイベント
意見交換	①市民、各種団体等との意見交換会開催 など	①市民アンケートや駅利用者への実態調査等の実施、「鯖江まちなか交流にぎわい協議会」の「鯖江駅分科会」開催

※1 KDDI Location Analyzer：スマートフォンの位置情報データ等を活用した人流データ分析ツール

### 2 再検討にあたって

#### (1) 駅東からの利便性向上を重視した計画実現の必要性とその整備手法

##### ①必要性について

- ・「鯖江駅東口等整備基本計画」の整備コンセプトは、『『めがねのまちさばえ』にあふれる地域資源をつなぎ、鉄道を利用する鯖江市民、県内外から鯖江を訪れる方々をつなぎ、通勤・通学・買い物等の日々の暮らしをつなぐ、人が集い笑顔あふれるにぎわいのある空間の創出を目指す』と定められており、少子高齢化、人口減少が進展する中、鯖江駅は、現在もこれからも鯖江市の玄関口として位置づけられるため、整備の必要性についての変化はない。

##### ②整備手法について

- ・駅東からの利便性向上を図りつつ、整備費を削減するため、当初の案も含め様々な整備手法を再検討したが、整備費の削減に繋がらないことに加え、運行安全上または利用者の利便性向上の点で課題が残る結果となった。

#### (2) 北陸新幹線金沢・敦賀間開業後の鯖江駅の利用状況や環境の変化

- ・北陸新幹線の敦賀延伸により、県内移動の日常使いの鉄道に変化し、駅周辺道路で送迎時間帯に渋滞が発生している。また、鯖江駅の乗降者数は、人口減少が加速している中で今後減少することが予想される。

#### (3) 周辺住民や駅利用者、市民の意見や要望など

- ・市民アンケートでは、大規模な設備投資に慎重な意見が多かった。
- ・東口改札整備よりも、送迎用の一時駐車スペースの整備を求める意見が多かった。

#### (4) 鯖江駅周辺交通社会実験の結果

- ・駅東へのロータリー整備が、駅周辺の混雑緩和に有効であることが分かった。
- ・ただし、駐車場の収容力の精査に加え、費用対効果や空間的制約を踏まえた総合的な検討が必要である。

#### (5) 鯖江まちなか交流・にぎわい協議会

- ・令和7年11月に、鯖江商工会議所・（一社）鯖江観光協会・福井県・鯖江市・産業界・各種団体等が連携し、「鯖江まちなか交流・にぎわい協議会」を設立した。協議会の下に分科会を取りまとめる「幹事会」、その下に「中心市街地」、「鯖江駅」、「産業観光・交流」の3つの分科会を設け、テーマ毎に具体的な方向性の検討に着手した。
- ・令和8年度末を目途にアクションプログラムを策定し、その後、概ね5年程度をかけて民間投資を呼び込みながら、中心市街地のにぎわいづくりに取り組む予定である。鯖江駅およびその周辺は、今後の活動の大きな起点となるため、駅整備については、民意をよく聞きながら手戻りが生じないよう進める必要がある。

### 3 今後の方向性

#### (1) 基本コンセプトを踏襲する一方、市民の声、意見を真摯に受け止める

- ① 鯖江駅東口等整備基本計画の整備コンセプトである「『めがねのまちさばえ』にあふれる地域資源をつなぎ、鉄道を利用する鯖江市民、県内外から鯖江を訪れる方々をつなぎ、通勤・通学・買い物等の日々の暮らしをつなぐ、人が集い笑顔あふれるにぎわいのある空間の創出を目指す」は継続する。
- ② 大規模な設備投資に対する市民の意見を真摯に受け止め、鉄道施設をまたぐ東西自由通路の整備は見直し、代替的な機能補完案を検討する。

#### (2) 交通環境の改善に取り組む

- ① 送迎の分散効果が期待できる駅東側におけるロータリー（乗降場）の整備や駅前駐車場周辺の改修を検討する。
- ② 障がい者や高齢者に配慮した乗降スペースなどの環境整備について検討する。
- ③ タクシー・バスの乗降場については、配置や案内表示の改善を検討する。
- ④ 鯖江駅を中心に、コミュニティバスやタクシー、シェアサイクルなどの充実を検討し、交通結節機能の強化を図る。

#### (3) 駅利用者の利便性の向上、周辺のにぎわい創出、新たな価値創造に取り組む

- ① 西口広場と歩行者空間を再編し、日常的な利便性の向上、イベント開催時の人の流れの円滑化を図る。
- ② 駅東側からめがねミュージアムへの「めがねストリート」の機能強化等、地域産業に触れ、体験できる起点として、駅利用者増に向けた取り組みを行う。
- ③ 空き店舗が目立つ駅西側の駅前ビルについては、これまで以上の支援や働きかけを行い、テナントを誘致するなど、商業、小売り、飲食、サービス、宿泊などの新たな価値を創造し、駅周辺のにぎわいを創出する。

#### (4) 都市景観の向上に努める

- ① 樹木の剪定やライトアップなど、歩行者目線での空間環境整備に努める。
- ② 駅利用者の利便性を向上し、賑わいを創出するため、歩行空間、案内表示板、撮影スポットの整備について検討する。

#### (5) 中長期的な視点のもと、駅を起点としたまちづくりに取り組む

- ① 鯖江駅周辺を「日常とイベントが共存する、誰にとっても使いやすい交通拠点」として再構築し、地域の魅力と利便性の向上を目指す。
- ② 将来の人口減少や建設費等の高騰を見据え、費用対効果や利用者の見込み等を十分に検証したうえで、施設整備等を検討する。
- ③ 鯖江駅を中心に、めがねミュージアムから嚮陽会館、西山公園までのエリアで、関係機関、団体と協議しながら中長期的な視点でまちづくりを検討する。
- ④ 駅西側エリアは、様々な民間投資を誘発しながら、商業サービス、飲食・宿泊機能を高める。市内外から人を呼び込むにぎわい・生活・交流エリアと想定し、市街地、嚮陽会館、西山公園へのまち歩きの起点とする。
- ⑤ 駅東側エリアは、地元住民や来訪者など様々な利用者が集うエリアと想定し、眼鏡や漆器など、市のものづくりを体験・経験する産業観光の起点とする。

### 4 整備項目ごとの方向性

- ・実施に当たっては、国や県の補助制度を十分に活用し、市費の投入を最小限にとどめ、市民の意見やまちづくりに取り組む様々な機関、団体等の考えをできる限り反映し、満足度の向上を目指す。

整備項目		整備方針
1	自由通路の設置	自由通路や東口改札の新設については、駅周辺のにぎわいの創出に伴う費用便益比の向上を前提とし、今すぐには実施しない。 一方、駅東西の往来、利便性の向上が代替されるよう、既存の地下道を活用するなど、ハピラインふくいと継続的に協議する。 (検討概要) ・バリアフリーの対策など
2	東口複合施設	新たな複合施設の整備は、将来的な駅舎等の大規模改修時など、時期を捉えて再検討することとし、今すぐには実施しない。 (検討概要) ・ものづくり産業観光情報発信スペース ・展示、交流スペース
3	既存駅舎	既存施設を活用し、駅利用者の利便性向上に努める。駅西側のエリアは、市内外から人を呼び込むにぎわい・生活・交流エリアと想定する。中心市街地、嚮陽会館、西山公園への「まち歩き」の起点とする。 (整備済み概要) ・観光案内（デジタルサイネージ）（R6.10 整備） ・コンビニ誘致（R7.1 開店） ・えきライブラリーtetoteを1階へ移転（R7.6 移転） ・エキナカフリースペースの整備（R7.6 整備） 駅舎全体の大規模改修は現在必要ないが、更なる利便性向上を図るため、引き続きハピラインふくいと協議する。
4	駅東広場	交通結節機能を強化するため、利用者目線での広場の設置や施設等の配置を検討する。 遠距離を含め様々な手段による利用者が集うエリアと想定する。眼鏡や漆器など、市のものづくりを体験・経験する産業観光の起点とする。 (検討概要) ・ロータリー（乗降場）を整備

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般送迎車、観光施設利用者用の短時間利用者への対応</li> <li>・乗降場へのアーケード</li> </ul>
5	西口広場	<p>駅西側道路の駐停車禁止、歩行空間の確保を検討する。 通勤通学時の送迎、タクシーやコミュニティバスの待合・乗降場など、利用者目線での広場の設置や施設等の配置を検討する。</p> <p>(検討概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乗降場を配置（障がい者や高齢者などにも配慮）</li> <li>・歩行空間の確保</li> <li>・乗降場へのアーケード</li> <li>・出入口等の改善（駅前駐車場）</li> </ul>

